

投 稿 規 定

1. 報文の原稿は次のような体裁にする。

- 1) 原稿は兵庫県の昆虫を対象にしたものに限ります。
- 2) 用紙は400字詰横書原稿用紙を用いる。
- 3) 新かなづかい、原則として当用漢字を使用する。
- 4) 動植物の和名は片仮名で書く。
- 5) データの記載は次のようにする。

2 ♂ 3 ♀ Aug. 19 1979. または、2 ♂ 3 ♀ 19 VIII 1979.

- 6) 図は別紙に用意し、そのまま製版できるよう墨入れしてあること。

本誌は横2段組で一行の長さが7cmになりますので、そのことを考慮して原図を作成して下さい。

また写真は黑白プリントで、図同様7cmにして下さい。

- 7) 引用文献は文末に一括して著者名のアルファベット順に下記のような形式で記す。

木村三郎(1977)上月町のシルビアシジミてんとうむしNo. 4 : 4

川副昭・若林守男(1976)原色日本蝶類図鑑 保育社 大阪

また引用したものについては本文中に著者名と年号、たとえば木村三郎(1977)と書いて下さい。

2. 原稿の登載順序、活字の指定、校正などは編集幹事に一任して下さい。

3. 投稿御希望者は原稿を本会事務局までお送り下さい。

表 紙

オオウラギンヒョウモンの交尾

兵庫県下に生息するヒョウモンチョウ類の中で、ヒョウモンモドキに次いで珍しい種である本種は、県下でも数ヶ所の生息地を除いて最近その姿を見ることができなくなった。

1979年8月14日にその数少ない産地の一つ、杉ヶ沢高原を訪れる機会があり、幸運にも本種の交尾行動をカメラに収めることができた

(交尾飛翔形式は←♀+♂)。

杉ヶ沢高原の草原はよく手入れが行き届き、本種が絶滅したと思われる栃原のように、草原に小木、雑草が繁茂するようなことがなく、雑草の間には本種の食草であるスミレの類が多く見られ、オカトラノオ、ヒヨドリバナ、アザミなどの吸蜜植物も多く本種の楽園でもある。

(広畑政己)